【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年5月7日(2024.5.7)

【国際公開番号】WO2023/100745
【出願番号】特願2023-564923(P2023-564923)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/39(2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 35/74(2015.01)
Ａ６１Ｋ 39/002(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/12(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｋ 39/39
Ａ６１Ｐ 31/00
Ａ６１Ｐ 37/04
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｋ 35/74 Ａ
Ａ６１Ｋ 39/002
Ａ６１Ｋ 39/00 Ｋ
Ａ６１Ｋ 39/02
Ａ６１Ｋ 39/12
Ｃ１２Ｎ 1/20 ＡＺＮＡ

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月1日(2024.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質を含む、活性化Ｂ細胞の胚中心移行を誘導するための組成物（ただし、Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質として大腸菌から単離したＬＰＳを含む組成物、およびＢ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質として大腸菌株からの菌体成分であって、１２を超えるｐＨでの溶解により化学修飾されたリポ多糖を含む組成物を除く）。
【請求項２】
前記Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質が、細菌である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質が、γプロテオバクテリア綱また

はバクテロイデス綱の細菌である、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
前記Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質が大腸菌（Ｅｓｃｈｅｒｉｃｈｉａ　ｃｏｌｉ）、サルモネラ（Ｓａｌｍｏｎｅｌｌａ　ｅｎｔｅｒｉｃａ）、クレブシエラ・ニューモニエ（Ｋｌｅｂｓｉｅｌｌａ　ｐｎｅｕｍｏｎｉａｅ）、バクテロイデス・ブルガータス（Ｂａｃｔｅｒｏｉｄｅｓ　ｖｕｌｇａｔｕｓ）またはこれらの組み合わせである、請求項３に記載の組成物。
【請求項５】
活性化Ｂ細胞の胚中心移行の活性化によって治療される疾患、障害または状態を有する対象を治療するための、請求項１～４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項６】
免疫賦活化、健康維持もしくは増進、粘膜細菌叢の維持もしくは改善、または感染症治療に使用するための、請求項１～４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項７】
粘膜投与ワクチンアジュバントである、請求項１～４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項８】
医薬、食品、飼料、食品添加物、飼料添加物、これらの原料組成物からなる群から選択される形態である、請求項１～６のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項９】
抗原とともに投与されることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。
【請求項１０】
抗原と同時に投与されることを特徴とする、請求項９に記載の組成物。
【請求項１１】
抗原の投与とは別に投与されることを特徴とする、請求項９に記載の組成物。
【請求項１２】
抗原を含むワクチン組成物である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１３】
抗原がウイルス、細菌、真菌、寄生虫抗原である、請求項９～１２に記載の組成物。
【請求項１４】
Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質を含む組成物を準備し、当該物質とＢ細胞を接触させること含む、Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導し、当該Ｂ細胞とＴ細胞および樹状細胞の接触を誘導し、活性化Ｂ細胞の胚中心移行を誘導する方法（ただし、Ｂ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質として大腸菌から単離したＬＰＳを含む組成物、およびＢ細胞におけるＣＤ１１ｂの発現を誘導する物質として大腸菌株からの菌体成分であって、１２を超えるｐＨでの溶解により化学修飾されたリポ多糖を含む組成物を除く）。